

《 脱炭素社会に向けての取り組み 》

津山市社会福祉協議会は、脱炭素社会実現に向けての取組みとして、「津山市総合福祉会館」のZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）化事業を実施しました。

○総合福祉会館大規模改修の背景及び目的

津山市社会福祉協議会が所有する「津山市総合福祉会館」は、昭和57年竣工以来、社会福祉協議会事務室のほか、主に2階から4階を「福祉・市民活動の拠点」として多くの市民の皆様に活用いただいています。

完成供用から年数の経過した会館改修を計画的に実施し、今後長期にわたって、「地域福祉の拠点施設」として、市民の皆様に、安定的かつ安全にご利用いただけるよう会館の大規模改修を実施しました。

会館改修にあたっては、最先端の安全技術と、一方では地球温暖化防止、化石燃料消費削減など「脱炭素社会実現」の視点から、平成27年度は日本財団の補助でエレベーター改修を、平成28年度、29年度の2か年間は、国、及び津山市の補助で「ビルの断熱化」、「高効率空調」、「LED照明」を導入し、福祉会館のZEB化（ゼロ・エネルギー・ビル化）改修を実施しました。

これらの改修により、一次エネルギー削減率58.4%（ZEBReady）のBELS認証を獲得し、脱炭素社会構築に向けて法人としての社会的責務を果たすとともに、ランニングコストの大幅縮減により、経営資源の有効配分を実現しています。



建築物概要			
都道府県	地域区分	新/既	建物用途
岡山県	5	既存建築物	事務所等
延床面積	階数		主な構造
2,286 m ²	地下 -	地上 4階	RC造
省エネルギー認証取得			
<input checked="" type="checkbox"/> BELS	ZEB Ready	<input type="checkbox"/> CASBEE	
<input type="checkbox"/> LEED		<input type="checkbox"/> ISO50001	
<input type="checkbox"/> その他			
一次エネルギー削減率（その他含まず）			
創エ含まず	58.4 %	創エ含む	58.4 %

○改修内容

- ①エレベーター改修
- ②屋根断熱
- ③Low-Eペアガラス
- ④空調負荷を最大限削減する全熱交換換気扇
- ⑤最適能力の高効率エアコンの導入
- ⑥照度センサ、人感センサを活用した高効率LED照明
- ⑦用途別エネルギー使用量、部屋別空調使用量把握のため、BEMS（ビル・エネルギー・マネジメントシステム）の採用。

以上により、使用人数の変化、使用時間の変化に柔軟に対応し、大幅な省エネが可能となりました。